

## No.144 会社訪問

代表取締役 児玉 卓也 氏



## 株式会社 TOGA

会社プロフィール

代表者：代表取締役社長 児玉 卓也

本社：茨城県つくば市千現 2-1-6 つくば研究支援センター  
TEL：029-860-1008 FAX：029-860-1009

設立：平成30年6月

資本金：15,000千円

従業員：4名

事業内容：独自開発のフィルターを活用して、ダクト不要で研究所及び工場等で発生する有害物質を除去、作業者の安全・健康・地球環境の保全に寄与を目的とする。

取扱い製品：TOGA フィルターを活用したダクトレス製品  
・有害ガス除去装置・完全密閉式 試薬保管庫  
・試薬庫付き実験台・ヒュームフード  
・ウォークスルー型 PCR 検査装置 他URL：<https://www.tsukuba-tci.co.jp/tenant-plaza/6575>  
HP 修正中にて「つくば研究支援センター」のサイトでご確認ください。

聞き手：岡田康弘（事務局長）取材・撮影・編集：クリエイティブ・レイ株式会社

## TOGA CLEAN SYSTEM 世界 30ヶ国以上で利用される、作業環境の改善に寄与する TOGA フィルター ダクト不要で有害物質・臭気やウイルスを除去し快適な現場環境の改善を提案

御社の主な事業内容をお聞かせください。

弊社は独自開発のTOGAフィルターを活用した製品を製造、販売をしています。

TOGAフィルターは親会社となります韓国GT SCIEN社が開発したもので、国際特許を取得し、EU・アメリカ・中国等で主要各国の安全基準をクリアしています。既に欧米をはじめ30ヶ国以上に展開しており、世界市場で高い信頼を勝ち得ています。

日本国内でもTOGAフィルターは第三者機関のフィルター性能証明を有しております。

TOGAフィルターが秀でている点は、有害物質や悪臭・ウイルスを吸引・除去するだけでなく、使用現場に応じたカスタマイズフィルターにて供給をしています。フィルター製品となりますのでダクト工事不要です。臭気や有害ガスの悩み、ダクト設置の工事などが難しい現場でも役立てられています。

具体的な製品ラインナップを教えてください。

代表的な製品はTOGAフィルター搭載の有害ガス除去装置です。有害物質を屋外に一切排出をせず、TOGAフィルターが悪臭や有害ガスを取り除きます。

部屋に据置くスタンド型(TOGA-S02D)と、局所的に有害ガス除去可能な移動型(TOGA-M01D)があります。移動型の1つを例にとると、大きさは縦横が約40cm、高さは95cmと非常にコンパクトで、コンセントがあればすぐに稼働出来、ダクトは不要です。

また、TOGAフィルター搭載の試薬保管庫も主力製品の1つです。試薬の臭気や有害物質をTOGAフィルターにて除去し、さらにIoTの機能を有していることがポイントです。いつ、誰が、どの試薬を取り出したか一括管理出来ますので、これまでのような手書きでの薬品管理が不要になります。

そしてコロナ禍の中ということで、新型コロナウイルスのウォークスルー型PCR検査装置の販売も行っています。装置の中に検査をする医療従事者が入り、被検者の検体を採取するものです。韓国でウォークスルー型PCR検査が行われている映像をニュースなどでご覧になられた方もいらっしゃると思います。日本でも既に納品が完了したお客様もいらっしゃいます。

昨年のJASIS2020で展示をさせていただき、多くのご相談をいただきました。

御社のお取引先は、どのような業界が多いのでしょうか。

研究室、医療機関、製造ラインなど幅広い業界のお客様がいらっしゃいます。また、本社を置く茨城県つくば近郊の土地柄もあり、TOGAフィルターはアンモニアやトリメチルアミン等の農業系で発生する悪臭にも脱臭効果がある事から、その特性を生かし堆肥施設への納品もアプローチ中です。弊社の有害ガス除去装置を設置することで、特別な工事もなく、臭い(悪臭)の劇的な改善が期待されています。

そして、コロナ禍に関連してのことで恐縮ですが、弊社製品が「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」として、厚労省より補助金を出す対象と認めていただきました。

今お話しされた補助金で設置できる制度自体をご存知ない読者も多いと思います、少し教えてください。

医療機関の感染防止を図るための環境整備に役立つ製品ということで、移動型のTOGA-M01Dが対象になりました。医療機関における感染拡大防止等支援事業医療分野に導入が可能になったのです。コロナ禍で大変な思いをされている医療の現場に微力ながら貢献できる意味合いもあり、光栄に感じています。

今回の様に国の省庁からの認定を頂く為には、製品としてのエビデンスがしっかりとしなければいけないので、TOGA製品も日本市場で自信を持って拡販を進め

る事が出来る大きな一歩と認識しております。ここに至るまで多くの皆様のご支援あってこそです。この場をお借りして関係各位に厚く御礼申し上げます。

本社・韓国GT SCIEN社について、また日本法人として児玉社長がTOGAを立ち上げた経緯を教えてください。

GT SCIEN社は2008年に韓国の大田(テジョン)で創業しました。現在の社長が創業者で、元々は理化学業界に身を置かれていた人物です。創業のきっかけは、研究室の臭いをダクト工事など不要で解決出来ないかと相談を受けたことで、社長が懇意にしていた大学教授とフィルター開発に取り組み、独自製品のTOGAフィルターを完成させました。

既に韓国では業界シェア50%を超え、欧米各国でも積極的に拡販をしている製品ですが、3年前の平成30年まで日本市場はほぼ未開拓の状況でした。私の知人がGT SCIEN社の社長と知り合いだったことから、日本法人の開設に協力してほしいとのアプローチをいただきました。

当時の私は、化学材料を扱う代理店の営業職で、理化学機器を扱うのは初めてでしたがこれも何かのご縁と考え、常に迷った時は一歩前へ踏み出すのが私のポリシーですので、とにかく挑戦してみようと法人開設に乗り出したということになります。

有害ガス除去装置(移動型)  
TOGA-M01D局所的に有害ガス・悪臭を除去  
有害ガス除去率は90%以上有害ガス除去装置(据置型)  
TOGA-S02D部屋全体の有害ガス・悪臭を除去  
移動型と併用で除去効果UPIoT付き試薬保管庫  
TOGA-UGS01いつ・誰が・どの試薬を保管したか?  
パソコン・携帯電話で一元管理が可能冷暖房機能付きウォークスルー設備  
TOGA-TB01F  
(コロナ検体採集ブース)医療従事者が安心・安全の環境で  
コロナウイルス検体の採集に活用

## 経営資料

合わせて200年～300年も残る技術の凄みを感じます。絵画では特に好きなのは、日本画の大家である東山魁夷です。鮮やかな東山ブルーにはいつも心が癒されます。

**愛読書や、敬愛する歴史上の人物はいらっしゃいますか。**

愛読書は司馬遼太郎の著作全般です。司馬作品には若い頃から影響を受けました。

私は神戸市出身なのですが、司馬遼太郎さんも関西人でその住居は記念館として一般開放されています。訪れると大変な本の量に驚きます。なんでも司馬さんが本を買いだすと、神田の古書店から本がなくなると言われていたそうです。

敬愛する人物は、司馬氏の小説「坂の上の雲」にも登場する児玉源太郎です。まるで日露戦争を戦うために生涯をきたような人物で、そのスケールの大きさに心を揺さぶられました。児玉源太郎についての本は司馬さんの著作もそれ以外も殆ど読みましたが、児玉源太郎は台湾を親日国家へ導いた礎を築いた方とも言え、こういった先人の遺徳が近代日本を築いたのだなと心から敬服しております。

**最後に、当協会へのご要望や、御社がPRしたいことなど、お聞かせいただけますか。**

今回、こういうインタビューの機会を頂き誠にありがとうございます。TOGAはまだまだ発展途上の企業でありますので、今回のご縁で多くの企業の皆様と繋がりが出来る事を願うばかりです。

また、弊社からのPRですが、2月9日に環境省と文部科学省が後援する「脱炭素チャレンジカップ2021」に協賛しております。企業や学校、NPO団体の脱炭素の取り組みに触れられる歴史のある大会です。今回はオンラインで開催されるので、ご興味があるようでしたらご覧いただければ幸いです。



JASIS2020展示出展

## 経営資料

**平成30年に日本法人の起業に踏み出したわけですね。創業当時の状況についてお聞かせいただけますか。**

1年目は創業準備で終始し、会社登記はしたものの営業先がまったくゼロからのスタートでしたので、地道な営業をして回りました。

営業先で環境・安全のエビデンスを求められても、日本の公的機関のデータは当然もっておりません。その為に公的機関の証明書が必要と考え、フィルター性能の分析も結局1年掛かりとなりましたが性能を裏付ける証明書を入手する事が出来ました。

**「いつかは売れる」という自信のようなものはおありでしたか。**

私は最初に韓国の社長から話を聞き、日本では全く実績のない製品が果たして売れるのだろうか?と率直な疑問は確かにありました。しかし、本社の社長は、安全・健康・さらに環境を守るものは“性能が良いと分かれば必ず売れる”という強い信念を持っており、その考えに私も共感した事は今でもはっきりと記憶しております。一般的なコモディティ商品はブランド名やメジャー感が優先されがちですが、人の安全・命を守るとなれば、品質が良いと分かれば必ず購入につながると信じています。

そうした考えがベースにありましたが、営業を始めてからは、何よりも出会った方々に多くのお力を頂いたお陰に他なりません。個々の企業名や個人名をいくつも挙げるとキリが無く、本当に多くの方々に助けを頂き感謝するばかりです。こうした出会いも何かのご縁の賜物と感じております。

**そうした事を含め、経営者としての喜びを感じる時を教えてくださいいただけますか。**

弊社の製品を導入していただいた結果、悪臭の問題を抱えていた作業現場が改善して「本当に良かった」と喜びの声をいただいた時ほど嬉しい事はありません。

もちろんビジネスですので利益を出さなくては行けません。そのことを超越して、我々の製品が作業者の健康・安全のお役に立てた事を実感できた瞬間が一番嬉しいです。それはメーカーだからこそ味わえる喜びの様に感じます。

そして繰り返しになりますが(私自身も不思議で説明が難しいですけども)、創業当初はとにかく前へ前へと進むしかなかったのですが、それでももうダメかもしれないという時に、必ず周囲の方に助けて頂けたという思いを強く感じています。

それ故私はいつもメールを送付する際に必ず最後は“ありがとうございます”で締めくくります。私と関わる人すべての方には常に感謝の気持ちを持ってお付合いを心掛けております。

**御社の企業理念をお聞かせいただけますか。**

シンプルですが「安心と安全 快適な環境を作りたい」ということが理念にあり、名刺の裏にも、環境(ENVIROMENT)健康(HEALTH)安全(SAFETY)の頭文字をとったEHSという文字を記載しています。

更に作業をする人の安心安全に寄与することは勿論のこと、真の意味で環境改善に寄与したいという思いがあります。例えば、ダクトを通して不要物を外に排出してしまっただけでは、室内は環境基準をクリアしていても不要なものを外部に出しています。その考えをもう一步進めると、自分達で生み出した不要物を外部には出さないという結論に至ります。弊社製品はそれを、当たり前のように達成できる環境を構築したいです。

こうしたことは、国際的な取組みの1つであるSDGsが掲げているように非常に大切な問題であり、日本だけでは無くこれからの世界の時流としてとして欠かせない考え方になるだろうと思っています。

**御社の課題や、今後の目標をお聞かせください。**

これまで、製品のエビデンスの提示や、省庁から補助金の対象に認定されるなど、性能を認めて貰う事で製品拡販に繋げてきましたが、次のステップとしては弊社のブランド力の向上も必要になってくると思います。

それは一気に作れるものではありませんが、現在はマーケティングにかなり重点を置いております。自分たちがどのようなブランド力を持ち、競合社と性能での差別化を図ながら、どの分野のお客様(業界・用途)に注力をしてPRするのか?そうした戦略を持つことが次の課題であると思います。

その為には製品を拡販して頂きます代理店様からも心底認められる存在に成長して行く必要があります。

そしてもう1つ、多用途に展開する視野も必要だと感じています。例えば農業分野・あるいは文化財分野など、臭いや有害ガスが発生して困っている分野は沢山あります。文化財で言うと貴重な原版フィルムが劣化すると酸が出てしまうケースもあります。弊社製品をご活用頂き、人間のみでなく文化財も快適な環境で保管が可能となり、後世に渡り日本の財産を保存できる事へと繋がります。

そういった理化学以外の分野にどう寄与していけるのか、やみくもに発信しても徒労に終わってしまいます。そこを見極めるマーケティングも必要だと思っています。

また、それに伴いTOGAの将来と一緒に考えてくれる人材も必要となって来ますので、そうした組織作りも次のステップの課題だと思っています。

**児玉社長ご自身のこともお聞かせください。モットーや座右の銘などはございますか。**

座右の銘は「闘志、至誠、感謝」です。私は大学時代に体育会系の合気道部に在籍していたのですが、道場の一番目立つところに掲げられていた言葉で、当時の監督からこの言葉を念仏のように聞かされました(笑)。しかし社会人になって年月が経った今、その言葉の重みを非常に理解しております。

常に前向きな意欲で取り組み(闘志)、時間が掛かっても誠心誠意を持って相手と接する(至誠)、私と関わる全ての人々、事象への敬意(感謝)と考えております。また、私自身が心がけているモットーは「いつも明るく笑顔で」です。

**プライベートの趣味もうかがいたいです。合気道は続けておられますか。**

この1年は新型コロナウイルスの影響で稽古がなかなか出来ませんでしたが、続けています。以前に柔道や空手も体験しましたが、合気道は社会人から始める方も多く、それは人間養成という面を合気道で体感するところが大きいからと思っています。

また、趣味では古民家めぐりや美術館めぐりも楽しみの一つです。古民家には、無垢材を釘一つ使わず組み